



随時記者発表

項 目	令和4年度（2022年度）日高管内教育実践表彰について		
区 分 等	発 表	月 日 時 分	説明者
	資料配布	2月 17日 時 分	
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度（2022年度）日高管内教育実践表彰受賞者一覧 ・「実践表彰」受賞者の功績の概要 ・日高管内教育実践表彰要項 		
発 表 要 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・日高教育局では、昭和42年から管内教育の充実発展を図ることを目的とし、学校教育及び社会教育の振興に功績のあった団体、個人を表彰しています。 ・別添のとおり実践表彰として3団体1個人、特別賞として6団体10個人の受賞者を決定しました。 ・表彰については実践表彰受賞者及び実践表彰受賞者と同じ所属の特別賞受賞者に対し、日高教育局 行徳 義朗 局長が学校等を訪問の上、次のとおり表彰式を実施する予定です。 <p>※特別賞受賞者には当局職員が学校等を訪問しての授与式は実施しません。</p>		
	団体・個人	日時	会場
	えりも町立庶野小学校	2月24日(金) 10:10～10:25	えりも町立庶野小学校 体育館
	株式会社 出口組	2月27日(月) 14:00～14:20	株式会社 出口組
	<ul style="list-style-type: none"> ・鵜田 あい（ときた あい） （北海道静内高等学校 教諭） ・北海道静内高等学校 書道部 ・本間 駿名（ほんま しゅんな） （北海道静内高等学校 2年） ・長田 姫奈（ながた ひな） （北海道静内高等学校 2年） 	2月28日(火) 13:00～13:20	北海道静内高等学校 会議室
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道静内農業高等学校 ・北海道静内農業高等学校 馬術部 ・北海道静内農業高等学校 3年農産加工研究班 ・米澤 望海（よねざわ のぞみ） （北海道静内農業高等学校 3年） 	2月28日(火) 13:50～14:10	北海道静内農業高等学 校 校長室	
報道に当たってのお願い	積極的な報道をお願いします。		
担 当	日高教育局企画総務課長 佐藤 基 (TEL 0146-22-9480) 企画総務課総務係 主事 宇都宮 沙恵 (TEL 0146-22-9484)		

令和4年度(2022年度)日高管内教育実践表彰受賞者一覧

<実践表彰> (3団体・1個人)

番号	団体・個人別	推薦者	団体名(代表者名)・個人名	功績の概要
1	団体	新ひだか町	株式会社 出口組	地域に根ざした土木体験学習
2		えりも町	えりも町立庶野小学校	学校教育
3		道立	北海道静内農業高等学校	地域発次世代イノベーター人材の育成～持続可能な日高農業の創り手～(文部科学省「マイスター・ハイスクール事業」指定校の取組)
4	個人	道立	鴫田 あい (北海道静内高等学校 教諭)	総合的な探究の時間の実践及び国語科における授業改善等の取組

<特別賞> (6団体・10個人)

番号	団体・個人別	推薦者	団体名・個人名	推薦功績
1	団体	新ひだか町	三石翔武館	第37回北海道スポーツ少年団剣道交流大会 団体優勝
2	団体	浦河町	浦河町立浦河第二中学校・ 様似町立様似中学校 野球部	令和4年度北海道中学校体育大会 第73回北海道中学校軟式野球大会 準優勝
3	団体	道立	北海道浦河高等学校 馬術部	第56回全日本高等学校馬術競技大会 団体戦 準優勝
4	団体	道立	北海道静内高等学校 書道部	第31回国際高校生選抜書展(書の甲子園) 北海道地区優秀賞
5	団体	道立	北海道静内農業高等学校 馬術部	第56回全日本高等学校馬術競技大会北海道地区 団体戦 優勝
6	団体	道立	北海道静内農業高等学校 3年農産加工研究班	おにぎりアイデアコンテスト2022 大賞
7	個人	日高町	加治屋 秀星 (日高町立富川小学校)	2022 第6回『小学生クルマのある風景』フォトコンテスト 最優秀賞
8	個人	日高町	八嶋 駿 吏 (日高町立門別小学校)	第25回極カップ春の陣北海道空手道選手権大会 小学4年男子32 ⁺ 未満の部 優勝
9	個人	平取町	川上 夢 太 (平取町立平取中学校)	令和4年度北海道中学校体育大会 第43回北海道中学校剣道大会 男子個人 優勝
10	個人	新冠町	澁谷 菜 帆 (新冠町立新冠中学校)	第24回江差追分少年全国大会 第2位
11	個人	新ひだか町	池田 美 咲 (新ひだか町立三石小学校)	第46回北海道道場少年剣道大会兼全国大会予選 個人戦(小学生女子の部) 準優勝
12	個人	浦河町	米川 虎 汰 郎 (浦河町立堺町小学校)	第20回世界ジュニア記念北海道小・中学生スピードスケート競 技大会 小学校6年生男子500m 優勝
13	個人	えりも町	寶金 楓 夏 (北海道えりも高等学校)	令和4年度野鳥絵画展(高等学校の部) 金賞
14	個人	道立	本間 駿 名 (北海道静内高等学校)	第33回全日本高等学校馬術選手権大会 個人戦 優勝
15	個人	道立	長田 姫 奈 (北海道静内高等学校)	第75回北海道高等学校陸上競技選手権大会兼秩父宮賜杯第75回 全国高等学校陸上競技対校選手権大会北海道予選会 女子ハンマー投 優勝
16	個人	道立	米澤 望 海 (北海道静内農業高等学校)	令和4年度日本学校農業クラブ連盟 第42回全道意見発表大会分野Ⅲ類 優秀賞

「実践表彰」受賞団体及び受賞者の功績の概要

【株式会社 出口組】

株式会社出口組は、昭和28年5月に会社設立以降、地域の活性化に貢献し、平成24年9月から「家庭教育サポート企業等制度」を締結し、家庭教育の一層の充実を図るため、地域行事への協力・支援や「道民家庭の日」の普及等に努めています。

また、平成24年度から11年間、地域に根ざした土木体験学習として、静内小学校の児童を対象に「はたらくクルマの写生会」、「土木体験学習」、「環境学習」を実施しています。

6年生を対象にした「環境学習」では電力と温室効果ガスの関係などを理科の学習と関連づけて、児童に節電や環境保全への興味・関心を深める機会を提供しています。

さらに、学校グラウンドの転圧作業などの整備や、株式会社出口組で保有するドローンを活用し、学校行事へ協力しています。

【えりも町立庶野小学校】

庶野小学校では、長年にわたり、学校の教育目標「かしこく（確かな学力）、あかるく（豊かな心）、たくましく（健やかな体）」の育成を目指し、重点目標を「自ら課題を見つけ、考え、共に行動して解決しながら自己実現をめざす児童の育成」に努めています。

特に、育成をめざす資質・能力を、基礎的リテラシー（何を理解しているか、できるか）、認知的スキル（理解していること、できることをどう使うか）、社会的スキル（学びを人生や社会にどう生かすか）として実践しています。

豊かな心の育成では、郷土の自然・文化に触れる砂浜ビーチコーミングや、百人浜・豊似湖周辺の動植物の観察、地域の文化・歴史を学ぶ地域体験学習を通して、えりも・庶野を知り、地域に誇りを持ち大切に思う気持ちを育てています。さらに、地域住民を講師として招き、地域の水産体験学習として「フノリの養殖」に取り組むなど、体験を通して庶野の海の豊かな水産資源を守っていく大切さを学んでいます。

【北海道静内農業高等学校】

静内農業高等学校では、令和3年度から令和5年度までの3年間、文部科学省「マイスター・ハイスクール事業」指定校として、地域の産業界（JA、JRA等）や自治体（新ひだか町、北海道農政部等）と連携・協働し、地域産業の持続的発展をけん引できる人材の育成に向けた様々な取組を行っています。

事業2年目となる今年度は、学科食品科学科・生産科学科の2つの学科やコースの特性に応じて、高度熟練技能者による指導を通じて、専門的な知識や技能を身に付けるとともに、前年度の

学習活動で発見した地域産業の課題を合理的かつ創造的に解決する力を育成することを目指し、次の4つの特徴的な取組を行いました。

1つめはプロジェクト学習の充実として、科目「課題研究」等において、生徒による全てのグループが企業等と連携し、「計画」、「中間」及び「まとめ」について、数回にわたって連携先から指導・助言を受け、地域課題の解決に向けた取組を行いました。

2つめはデュアル派遣実習の充実として、食品科学科の科目「デュアル派遣実習」において、夏季休業期間中の3日間程度、管外の大手企業4社で実習を行いました。

3つめはフランスからの留学生受入として

英語教育の充実に向け、6月27日から7月3日までの1週間、フランスからの留学生2名を受け入れ、教科・科目の授業や学校行事等において様々な交流活動を行いました。

4つめはアフターコロナを見据えたオンラインによる講演事業スマート農業の学習内容を深めるため、本校、津別町の農家及びNTTドコモ東北支社の3か所をオンラインでつないだ講演事業を実施しました。

【鴫田 あい（北海道静内高等学校教諭）】

鴫田 あい教諭は、国語科教諭として優れた専門性を有し、本校の授業改善に力を尽くすとともに、令和2年度には北海道高等学校「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」アドバンス学習キャンプ（道南ブロック国語）運営者、令和2年度から令和3年度に北海道高等学校「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」学力テスト開発委員を努め、令和4年4月には「高等学校北海道版『現代の国語』『言語文化』言語活動単元案集」協同執筆しており、勤務校だけでなく、管内、道南圏域及び全道の国語教育の充実・発展に大きく貢献しています。

また、「総合的な探究の時間」の主担当として、3年間の指導計画の立案や地域の関係機関との連絡調整、授業実践及び実践成果のまとめ等、年次団において中心的な役割を果たしています。

さらに、令和3年度北海道高等学校「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」における「探究活動キャンプ」に参加し、「さくらいん新ひだか〜町を美術館に〜」をテーマとした静内高校の生徒の探究活動である町の魅力発信に向けたシャッターアートの制作の充実に向け、積極的に指導・助言を行いました。その結果、令和4年3月に開催された「高校生 探究サミット」（成果発表会）において、最高賞である「北海道知事賞」を受賞する成果をあげました。

日 高 管 内 教 育 実 践 表 彰 要 項

(昭和42年10月 1日局長決定)
(昭和61年11月28日一部改正)
(昭和63年 1月 9日一部改正)
(平成 2年12月26日一部改正)
(平成 3年12月26日一部改正)
(平成 7年12月 6日一部改正)
(平成13年12月12日一部改正)
(平成15年12月26日一部改正)
(平成16年10月27日一部改正)
(平成18年11月 1日一部改正)
(平成19年11月29日一部改正)
(平成21年11月26日一部改正)
(平成24年12月25日一部改正)
(平成29年 2月16日一部改正)
(平成30年 2月27日一部改正)
(平成30年11月28日一部改正)
(令和 2年11月30日一部改正)
(令和 4年10月27日一部改正)

1 目的

日高管内の学校教育及び社会教育の振興に功績のあったものを表彰し、もって充実発展を図る。

2 表彰の種類

表彰は、実践表彰及び特別賞とする。

3 表彰対象

団体及び個人

4 表彰候補者等の推薦

(1) 推薦の観点

ア 実践表彰

(イ) 優れた研究や実践活動を行い、その功績が顕著であるもの

(ロ) 学校教育又は社会教育の振興に寄与する活動を行い、その功績が顕著であるもの

イ 特別賞

官公庁又は全国的な組織・団体等が主催する各種大会や発表会等において、優秀な成績をおさめたもの

(2) 推薦の方法

道立学校長、町教育委員会教育長及び日高管内教育委員会連絡協議会会長は、別記に基づき、別紙第1号様式又は別紙第2号様式により、教育局長に推薦する。

なお、同一の表彰の種類かつ同一の推薦区分に複数の候補者を推薦する場合は、順位を付して推薦する。

5 被表彰者の決定

(1) 実践表彰

各道立学校長、町教育委員会教育長及び日高管内教育委員会連絡協議会会長から推薦のあった者の中から、別に定める選考委員会の審議を経て、教育局長が決定する。

(2) 特別賞

各道立学校長及び町教育委員会教育長から推薦のあった者の中から、教育局長が決定する。

6 表彰の方法及び時期

(1) 表彰は、表彰状等を贈呈して行う。

(2) 表彰の時期は、その都度決定する。

7 その他

この要項に定めるもののほか、表彰に関し必要な事項は教育局長が定める。

別記

1 実践表彰

推薦区分	表 彰 対 象	推 薦 者
団体	町立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校及び関係団体	各町教育委員会教育長 日高管内教育委員会連絡協議会会長
	道立の高等学校・特別支援学校及び関係団体	各道立学校長
	管内の学校教育又は社会教育の振興に寄与する活動を行った関係団体（子育て支援や青少年育成を行った団体、少年団、地域学校協働本部、家庭教育サポート企業、子どもの読書活動等の取組を行った団体等）	各町教育委員会教育長 日高管内教育委員会連絡協議会会長
個人	町立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校の教職員（※）及び支援者	各町教育委員会教育長 日高管内教育委員会連絡協議会会長
	道立の高等学校・特別支援学校の教職員（※）及び支援者	各道立学校長
	管内の学校教育又は社会教育の振興に寄与する活動を行った関係者（子育て支援や青少年育成を行った者、少年団、地域学校協働本部、家庭教育サポート企業、子どもの読書活動等の取組を行った者等）	各町教育委員会教育長 日高管内教育委員会連絡協議会会長

2 特別賞

推薦区分	表 彰 対 象	推 薦 者
団体	町立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校及び関係団体	各町教育委員会教育長
	道立の高等学校・特別支援学校及び関係団体	各道立学校長
個人	町立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校の幼児、児童及び生徒	各町教育委員会教育長
	道立の高等学校・特別支援学校の児童及び生徒	各道立学校長

※ 表彰の対象となる教職員の範囲

校長、教頭、主幹教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、園長、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師、事務長、事務職員、学校栄養職員、実習助手、技術職員、寄宿舎指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等